



COVID-19

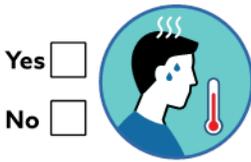
Please complete the following questions

Name: _____ Phone: _____

Date: _____ Time: _____

Email: _____

Do you have any of the following:



Yes
No

Fever



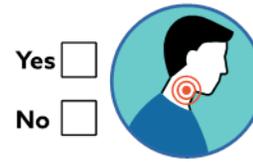
Yes
No

Cough



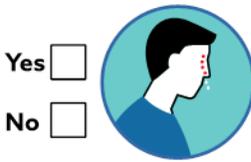
Yes
No

Difficulty breathing



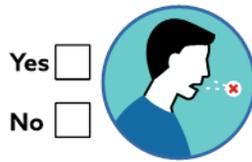
Yes
No

Sore throat,
trouble swallowing



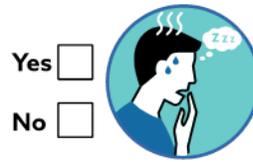
Yes
No

Runny nose



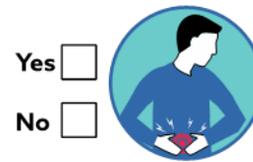
Yes
No

Loss of taste or
smell



Yes
No

Not feeling well



Yes
No

Nausea, vomiting,
diarrhea

Yes Have you been in close contact with someone who is
No sick or has confirmed COVID-19 in the past 14 days?

Yes Have you returned from travel outside Canada in the
No past 14 days?

**If you answered YES to any of these questions,
go home & self-isolate right away. Call Telehealth
or your health care provider, to find out if you
need a test.**

TORONTO.CA/COVID19

TORONTO Public Health

法要参拝における規定と注意事項

COVID-19のリスクを最小限にとどめるため以下の項目を厳守してください。

1. 祥月法要を含む日曜日法座への参拝を希望される方はその週の水曜日までに寺院のEメール、ウェブサイト、電話から事前予約をお願い致します。事前予約はその週の月曜日から受け付けます。子どもを含むすべての人の予約が必要です。予約をする際、ご家族や親族など共に参列する人を教示ください。
2. ボランティアと職員も含めた各参拝者が正面玄関にて手の消毒と健康状態を記載する。30日間はこの健康状態の情報を寺院で保管しその後破棄します。参拝時は法要開始時間より早めに来ていただき、参拝プロセスと人との物理的距離を保てるようにしてください。
3. 過去2週間に海外へ渡航された方、気分がすぐれない方、健康状態のアンケートにひっかかる方、またCOVID-19感染の疑いがある方は自宅にて待機してください。Facebookを通しての法要参拝ができます。
4. トロント市の541 - 2020条約に基づき駐車場を含む寺院の敷地内では必ずマスクを着用して下さい。
 - トロント仏教会は使い捨ての非医療用マスク・布製マスクの販売をしております。参拝時にマスクを忘れた際にご利用ください。
 - なんらかの事情でマスクを着用できない方は寺院からの退室をお願い致します。ご自身だけでなく、周囲の方へのご考慮もよろしく申し上げます。
5. 参拝プロセスを終えられた方は、本堂へ速やかに移動し指定の席にお座り下さい。椅子の移動はご遠慮ください。お困りの際は近くのスタッフにお声かけ下さい。
6. 念珠や門徒式章、経本をお持ちの方は各自ご持参ください。寺院での貸し出しはしておりません。
7. 本堂内での讃仏歌の合唱と読経は禁止となるので黙読をお願い致します。(開教使と開教使アシスタントは除く)
8. 各ご門徒方によるお焼香の作法は中止し合掌のみとさせていただきます。各自お布施は指定された箱にお入れください。
9. 法要後は建物の消毒等がありますので、参拝された方は速やかに外へご案内させていただきます。
10. 2階と地下のソーシャルホールへの立ち入りは禁止です。地下階のお手洗いは緊急時のみとさせていただきます。
11. エレベーターはお一人またはその家族の人のみの使用となります。

To Register for Services:法要参拝の事前予約

寺院のウェブサイトから <https://tbc.on.ca/>

寺院のEメールから: tbc@tbc.on.ca

寺院の電話番号から: 416-534-4302

寺院での法要再開において

この度トロント仏教会では寺院を再開するにあたって9月13日(日曜日)より**法要時のみ**開門することが決まりました。開門は法要開始の一時間前(午前10時より)となります。

また開門するにあたりCOVID-19の集団感染ならびに発症は極めて危険なものであり、危機管理を皆様のご協力のもと寺院でも徹底していく次第です。それゆえ地方及びカナダ国の定めた規則と国際勧告に基づき細心の注意を徹底いたします。お寺にお越しになる際は、時間をかけて記載されているすべての注意事項と手順をご確認いただき、ご自身でも新しい規則を順守してください。

新しく設けた安全性に関わる重要な規定

法要参拝にあたり以下の注意事項をお読みください。

- 本堂への収容人数は50人以下となる。
- 法要参拝には事前予約が必要となる。
- 各参拝者(子どもを含む)は、健康状態を確認するアンケートに毎回(各法要)答える。
- 寺院にいる間は常に必ずマスクの着用、手の消毒、人との物理的距離を取る。
- 寺院は必ず各法要後に人が触る箇所等の消毒・清掃を徹底します。
- 手の届く個所に消毒液等を用意しているので各自ご利用ください。

以上の事項に従えない場合は、寺院への立ち入りをお断りさせていただくことがございます。また他の訪問者の安全性を考慮し退出をお願いすることがあります。何らかの理由で安全への規定を守ることが難しい場合は、ご自宅にてライブストリーミングで法要にご参加ください。

重要な変更事項

- 祥月法要はできるだけ多くの方が参加できるよう各月3回行います。祥月法要の詳細につきましては寺院のスケジュールとウェブサイトをご参照ください。
- (開教使と開教使アシスタントは除く)本堂内での讃仏歌の合唱と読経は禁止となるので黙読をお願い致します。
- 経本、御念珠、補聴器、門徒式章の貸し出しは行っておりません。
- お布施は指定された箱にお入れください。
- 法要後のお茶会は中止させていただきます。

寺院再開にあたり込み合う可能性があります。そのため9月の祥月法要は、9月に亡くなられた遺族を中心に参拝していただければ幸いです。たとえ寺院側で感染リスクの予防に注意を払っていたとしても、最終的には個人個人のリスクマネジメントが重要となっていきます。皆様のご協力とご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

ご質問やご意見のある方は寺院までお知らせください。皆様とお会いできるのをこころより楽しみにしております。

合掌

トロント仏教会 門徒総代会

佛心



平和宣言

いま世界は、現代人がかつて経験したことのない危機に直面しています。

昨年2019年12月、病原体が特定されていない肺炎が報告され、その後、新型コロナウイルス感染症と称されるこの病気は、瞬く間に世界中にひろがりました。現在まで死者数は約90万人以上にのぼり、いまなお感染の勢いは収まる様子を見せていません。

このような中、歳月は人を待たず流れ、本年も9月18日を迎えました。本日この国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑において関係者が集い、第40回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要を修行いたします。特にこの厳しい状況の中で、終戦75年という節目のご法要を行うことの意義を改めて考えることは大切なことです。

私たち浄土真宗本願寺派は、戦後70年にあたる2015年、「平和に関する論点整理」を発表しました。その中で、公平・平等・信教の自由を含む人権の尊重・飢餓の克服・環境問題など、争いを引き起こす構造的な課題を解決することで成り立つ「平和」、すなわち「積極的平和」の必要性を指摘しました。しかしながら、マスクや日用品を我先

二〇二〇年十一月号

浄土真宗 本願寺派

トロント本願寺

にと買い占める姿や、それらを転売する行為が報道されたり、感染者に対して苦しみを共有しようとしてせすに、その家族までも排除しようとする行為が話題になるなど、新型コロナウイルス感染症は、人間の内面に潜む自己中心性をあらわにさせ、他のいのちの尊厳を冒す人間の無明煩惱がもたらす姿を改めて明らかにしています。

専らご門主は「ご親教「念仏者の生き方」において、「テロや武力紛争、経済格差、地球温暖化、核物質の拡散、差別を含む人権の抑圧など、世界規模での人類の生存に関わる困難な問題が山積していますが、これらの原因の根本は、ありのままの真実に背いて生きる私たちの無明煩惱にあります」とお示しになりました。

宗祖親鸞聖人のみ教えを、わかりやすく示されたこのご門主のお言葉は、いままさに世界中で起こっている差別や紛争、貧困や環境破壊など、これらの問題は自己中心的な心で、行動してしまう私たち人間の内面にこそ、その原因があるとの鋭い指摘と受け止めなければなりません。

またご門主は、同じご親教で「仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を『諸行無常』と『縁起』という言葉で表します。(中略)『縁起』とは、その一瞬ごとにすべての物事は、原因や条件が互いに関わりあって存在しているという真実です。したがって、そのような世界のあり方の中には、固定した変化しない私というものは存在しません」とご教示になっています。

次のような俳句があります。

「降りだして 田植えいよいよにぎやかに」

(長山秋生)

空と大地と水と、そのつながりの中で人も生きています。食材に恵まれ、無事、食べられる。水も喉を通ってくださる。そのお蔭で、いま生きています。人はみな縁起する事実の中で生かされ、いのち在らしめられているのです。しかも大事なことは、すべての現象は縁起していますから、変わらない固定したすがた・かたちは何もないということです。

ですから、仏さまのように完全にはできなくても、私たちは、縁起というありのままの真実に教え導かれ、精進するのです。自他をわけ、かまえ、執われ、対立する心を限りなくおさえ、人と喜びや悲しみを分かち合うなど、日々精いっぱいつとめるのです。

対立や排除ではなく、心を通い合わせ、痛みを分け合い、協力し合って生きていく社会の実現に向け共に努力する先にこそ、この厳しい苦難を乗り越え、平和をより確かなものにする道が切り開かれていくことでしょう。

本日、この同じ時に全国各地の寺院から、平和の鐘の音が鳴り響きます。鐘の響きに込められた私たちの願いが、世界へ、子や孫へ届いてゆくよう、共に精いっぱいつとめてまいりましょう。

2020(令和2)年9月18日

浄土真宗本願寺派 総長 石上智康